

「大阪農業デジタルトランスフォーメーション（DX）推進戦略（案）」に対する府民意見等と大阪府の考え方について

- 募集期間：令和8年2月16日（月曜日）から令和8年3月18日（水曜日）まで
- 募集方法：電子申請、郵送、ファックス
- 募集結果：3名から3件の意見提出（うち意見の公表を望まないもの2件）

No.	意見等の内容	大阪府の考え方
1	<p>スマート農業はご認識の通りコストパフォーマンスが悪く小規模農家には向いていないと思います。</p> <p>現状、大阪では大規模農業を行うのは困難な為、コストを抑える農業の推進が必要だと思います。</p> <p>大阪の面積当たりの収量が多いのはそうさせるを得ない状況だからで、おそらくその分経費がかかっているのではないのでしょうか。広い農地があればそのような必要はありません。</p> <p>スマート農業の推進に尽力されているのに恐縮ではありますが、高価な設備が不要な農業が良いと思います。例えば寒さや暑さに強い品種の開発（暖房設備が不要）、市販の資材で安価につくれる施設や設備の提案、無利子または低利子の融資の拡大など。コストを抑えるのは個人だけでなく法人でも同じことです。</p> <p>後継者不足の件ですが、農業で生計を立てることが出来る事が分かれば自ずと解決していく問題だと思います。</p> <p>私は農業を営んでいますので、それを優先して考えますが、農業資材などを販売しているメーカーさんや商社さんには歓迎されないと思います。</p>	<p>御意見の通り、大阪農業は小規模な経営が多く、導入コストに見合った効果が得られる技術を選択することが重要であると認識しています。</p> <p>このため、戦略（案）では、小規模な大阪農業の特性に適した先進技術の実装拡大を基本とするとともに、産地や経営規模に応じた重点支援、導入手法の工夫を行うこととしています。また、農業基盤の整備や情報通信環境の確保を進め、技術が活用しやすい生産環境づくりを推進することとしています。</p> <p>加えて、気候変動に対応する安定生産技術の開発・実装の中で、環境制御技術だけでなく、品目別の高温対策技術や新品種導入等も進めることとしており、現場の実情に応じて、高価な設備に限らない多様な対応策を組み合わせることが重要と考えています。</p> <p>御意見の趣旨を踏まえ、戦略（案）本文には、低コスト化や既存資材も活用した導入手法、基盤整備と組み合わせた実装の視点がより明確になるよう追記します。なお、融資や補助制度の活用についても、今後、本戦略に基づき、国や府の支援策を活用しながら、経営実態に応じた導入が進むよう努めてまいります。</p>